



	書名	著者名	請求記号
1	クロスファイア 上・下	宮部みゆき著	913.6/70/1~2
2	お互い40代婚	たかぎなおこ著	726/Ta
3	ぼくは勉強ができない	山田詠美著	913.6/Ya
4	少年の名はジルベール	竹宮恵子著	726/Ta
5	氷室冴子とその時代	嵯峨景子著	910/Sa
6	藤子不二雄(A) 藤子・F・不二雄：二人で少年漫画ばかり描いてきた	藤子・F・不二雄、藤子不二雄(A)著	289/Fu
7	綿の国星	大島弓子著	726.1/Os/1~4
8	ハリー・ポッターと呪いの子 第一部・第二部 舞台脚本 愛蔵版	J.K.ローリング、ジョン・ティファニー、ジャック・ソーン著、ジャック・ソーン舞台脚本、松岡佑子訳	932/Ro/1-2
9	ハサミ男	殊能将之著	913.6/Sh
10	こだまでしょうか、いいえ、誰でも。	金子みすゞ著	911/Ka
11	あさ	谷川俊太郎文・詩、吉村和敏写真	911/Ta
12	心を整える。: 勝利をたぐり寄せるための56の習慣	長谷部誠著	783/Ha
13	色を奏でる	志村ふくみ文、井上隆雄写真	753/Sh
14	おむすびの祈り:「森のイスキア」こころの歳時記	佐藤初女著	914/Sa
15	Factfulness : 10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣	ハンス・ロスリング、オーラ・ロスリング、アンナ・ロスリング・ロンランド著、上杉周作、関美和訳	002/Ro
16	こころの処方箋	河合隼雄著	080/11

ワロスファニア 上・下

著 宮部
みゆき

小学生の頃、何よりもマンガが大好きで、本を読むことがあまり無かった私に、本好きの母から「難しいかもしれないけど『読んでみない?』と、差し出されたこの一冊をきっかけに、本が大好きになりました。分からぬ言葉・表現を辞書で調べながら読み進めると、より物語の世界が広がって嬉しかった記憶があります。

ー小説のあらすじー ある男たちの殺害現場を目撃した主人公OLの青木淳子は、“パロイロキネシス”的力を使い掌から炎を放って2人を焼き殺し…!? 衝撃的なシーンから物語は始まります。



ぼくは勉強ができない
山田詠美

私が初めてこの本を読んだのは大学生の時だ。

主人公のような同級生がいたら絶対好きだな、と思う。

就職して実家を離れた時、どうしても読めなくなってしまったが、

主人公は高校生ばかりで、年齢を重ねて読み返すのが

彼の周りにいる、年上、彼女や母親、祖父、発する言葉だ。

それを受けて自分の言葉で自己反省する主人公だ。

毎回自分、思ひ込みや考え方、常に気づかれて

ハッとする。そこからも何回も
読み返すだろう。

少年の名は ジルベール

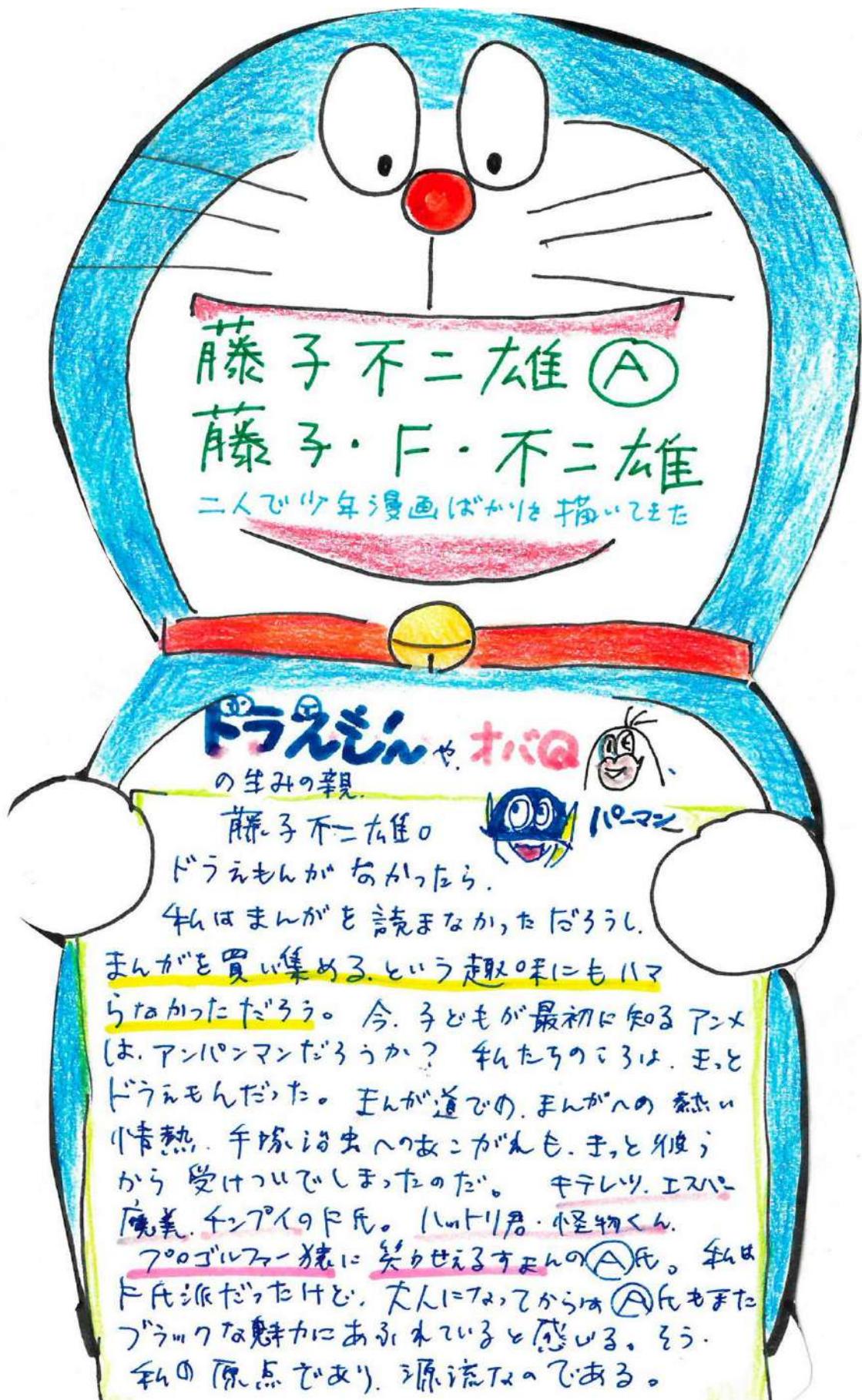
竹宮恵子

1970年代に描かれた竹宮恵子の代表作
『風と木の詩』を私が手にとったのは1990年代。
少女マンガをあまり読んだことがない、私が今は
『風と木の詩』衝撃的な内容で、1回読んだだけで
深く記憶に刻まれた。主人公の名はジルベール。
金髪碧眼の少年だ。

今までBLというジャンルが生まれ、作品も
たくさんあつけれど『風と木の詩』ほど
感情に訴えて少女マンガに出会ったのはない。

このエッセイを読んで少しでも関心を持ったなら
是非『風と木の詩』を読んでみてほしいと思う。





星の国 編

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

1年着なかつた服は捨てよう」という断捨離専門本に「本だけは2度と手に入られないと捨てられない」という一行が載っていました。服も好きな服も同じものには手に入らないけど、首と腰と傾げたところがあるが、体型、年齢、TPOと永遠に着ることのが重要な服よりも簡単にいいでも再読することができる本。しかし脳と同じくらいないので最初と同じ体験はできない。価値観時代で移り変わるので年々どうしたらいいかが難しくなります。こんな中で昔読んだときと違って面白いととく跡には美しいです。私はこの再読しつづけで物語が自分に浸透して感動したのが「錦の国星」だ。

小学生のころを紙の力からして慈かれて父に贈られ、もうたしかよくわからなくなってしまった。高校生になってしまったと図書館で「大島弓子」他の文庫編で読んでもう物語にくそのがある。改めて読めば全く違う。言葉を理解したいときのハレンケラーメンには…チビ猫の目を通した世界が輝いて見えた上うつむいていた。すると大切にして読めば戻したい本である。

それから、自分がいたときに図書館は存在していなかったのかもわかります。
過去にお別れした物語を探して読み返してみません？ ☆ ☆

Harry Potter

ハサミ男

この本を読んで思ったのは、「思い込みや先入感の内容でこんなにも違う印象を受けるのか」でした。「当たり前でしょ?」と思われるかもれません。

それでも、結末を知った上で文章の内容を想像した時、最初の『わたし』とは全く別人の『わたし』になつているのを感じた時、とても驚いたと同時になんとかドキドキしました。「何言ってんだか…」と言われてしまふのですが、私どうしてこう感じたのかは全然分かりません。もっと言つてしまふと何でこの本を選んだかも、明確に答えられないと思います。自分のまだ知らない感性が自分の中にあるのかかもしれない。

そう気付かせてくれたと言う意味では、影響を受けて

いるのかを
しれませんね。



こた"まで"しょうか、 いいえ、誰でも。

落ち込んだり、自分の存在を否定されて怖くて身動きが取れなかったりした時に金子みすゞの詩に出会いました。中でも、「私と小鳥と鈴」ととても励まされたのを覚えています。「頭おかしいんじゃない?」「だからダメなんだ!!」と否定された時、この詩を読んで、「みんなちがって、みんないい」んだと思うことで自分を守ることが出来ました。人によって捉え方はそれぞれ。考え方も人それぞれ。言ひ方だって、接し方だって人それぞれ。悪い事だけに目を向けるのではなく、良い事に目を向けて、大切にする。そんな当たり前のことに気付かせてくれました。



谷川俊太郎は、大人向けの詩、子どものことは“あそび”、絵本、作詞、翻訳と幅広く作品を作り、活躍している。

いつも傍らにというやうな“ないけれど”、ふとした時に「いいねー」と元気に勇気をもらえる作品が多め。子どものようなちよとわがままは大人のような作品の世界観が、いつまでも夢や希望を忘れちゃいけない気持ちにさせてくれる!!

紹介している本は ⇒ 『あさ／朝』 谷川俊太郎著 吉村和敏写真 アリス館

函字処理図書食官情報センターのHP 見られます!
「すいひつ No.148」にも載せている。

この本はサッカー日本代表キャプテンだった長谷部誠氏の本である。

リーダーとは？ 人からの信頼を得るために何？ というテーマでもあるかもしれない。

何度も読み返している。
成功には、必ず準備が必要なんだと思ふ。

『色を奏でる』

志村ふくみ・文 / 井上隆雄・写真

「草木がすでに抱つてゐる色を私たちはいただく」と語る
染色家の志村ふくみさんのエッセイです。

自然の色をどうかして生かしたか、その主張を聞きたいと、
自然の諸現象を深く見つめ、季節の音色に耳を澄ませる……
その姿勢と作品に深く感銘を受けました。

すべては自然の中にある、人の生もまた そういうのだと思えます。

エッセイの間に はさまれた美しい写真は 井上隆雄さんに よるもの。
ここに 井上さんのあとがきを引用します。

「人間が、自然の中で、人間であり続けてきた歴史のように、
自然との交感は、人に欠かせない糧である。」

『おむすびの祈り』

—「森のイスキア」二二三の歳時記

佐藤初女著

佐藤初女さんを知ったのは 「地球交響曲 第2番」 という
ドキュメンタリー映画でした。映像を観ながら 静かに涙が流れ、
この本を手にしました。

「私は おむすびの祈りです」とおしゃる言葉がとても印象的で、
その手に深くあたたかく、母の愛のようなものを感じました。

食べることはいつもいただき物のこと、素材のいちを大切に扱いながら
心をこめてゆっくり お料理される姿、目の前の人へ寄り添われる姿、
初女さんの「おむすびの祈り」が 映画からも本からも 伝わってきます。

慌ただしく過ごしていると、丁寧に生きることが 莫離いときも
ありますから、生きていることに感謝し、日々に
心を尽くそうと思わせてくれる一冊です。

タイトル

FACTFULNESS (ファクトフルネス)

10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣

著者

ハンス・ロスリング、オーラ・ロスリング、アンナ・ロスリング・ロンド

世界の事実に関する3択クイズに答えてみよう。

多くの人の正解率が「チンパンジー」に負けている。

あなたの正解率は?! (チンパンジーの正解率は33%)

私は世界に関する認識の圧倒的な知識不足・勘違いに頭をガツンとやられた気がしました。ドラマチックストーリーを信じる前にデータを確認してみようと思います。

脳内アップデートしよう

ビジネスチャンスのヒントがここにある
一文字で表すと……?

笑 泣 楽 驚 学

こころの処方箋

河合隼雄

学生時代、私は良くも悪くも人に無関心だった
社会人になり、この本を勧められて読み、
いろいろな人がいることを知った。

相手を知る・見る・考える

人とのつきあい方、こころの持ちかたを教わった一冊。
一文字で表すと……?
笑 泣 楽 驚 学愛知学院大学
歯学・薬学図書館情報センター

コンセプトコーナー 2021年 2~3月

一冊が気づかせてくれた。～私の大切な本～

